

平成30年度 第2回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

平成30年7月6日（金）

13：30～14：40

大垣市役所3階 合同委員会室

出席者：19名 欠席者：8名

- 1 福祉部長あいさつ
- 2 第三次障害者計画の事業実績及び事業計画について（事務局）  
→別紙資料1．2による
- 3 第4期障害福祉計画の事業実績について（事務局）  
→別紙資料1．3による
- 4 第5期障害福祉計画・第1期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の事業計画について（事務局）  
→ 別紙資料1．4による

<第三次障害者計画の事業実績及び事業計画について>

・災害等の緊急時における安全・安心の確立で、災害時支援用バンダナを2,000枚作成し、1,200枚無償配布したとあるが、障がい者へどの程度行き渡っているのか。

→ バンダナを希望される方に配布している。市内障がい者の方が約1万人みえると考えると1割程度となる。

・自治会として、いざという時のために要配慮者の方も含めて避難訓練を行いたいと考えるが参加いただけない現状がある。

→地区社協の協力を得て災害時要配慮者の支援体制の構築を進めている。障がいある方も参加し避難訓練を実施した地区もある。こうした活動をさらに浸透させていきたい。

→障がい当事団体として、避難訓練にはなるべく出かけましょうと声を発信していかなければならないと感じている。

・相互理解と交流を通じたこころのバリアフリーの交流及び共同学習の推進とあるが、小・

中学校ではどのような交流や共同学習を行っているのか。

→ 学校内の特別支援学級と通常学級との交流、特別支援学校との居住地校交流がある。  
地域の障がい者との交流については、地域性もあり、情報共有がなされて交流ができるところもあるが情報の共有が難しいところもある。地域での関わりは課題。

#### <第4期障害福祉計画の事業実績について>

・計画相談が普及したことで、居宅介護へのニーズが多くなっている。事業所においても、人がいないので受けられないと断られることが多くなっている。事業所側も困っている。  
市において、充実や事業参入に向けよい施策はないか。

→福祉従事者不足は居宅介護だけでなく、施設でも課題である。働きやすい環境をどうすれば作れるか、給料面も含めて、国へ働きかけることも考えていかなければいけない。

・地域定着支援の実績がないのは、どういう問題・課題があるか。

→ ニーズがあっても供給できるサービスがない現状がある。暮らし支援部会で、進まない原因は何か、地域の理解がないのか、本人の希望が聞き取れないのかなどの進まない原因は何かを挙げ、その解決にむけた対策を具体的に一つひとつ検討していくとよい。